

情報かわら版

5

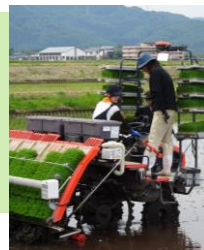


今月の表紙：NGT48 田植え（新発田市）

- ▶ **NGT48 農業部** さあ「ときむすめ」出発進行（田植え編）
- ▶ 北陸農政局「**みどり戦略**」Instagram 始めました！
- ▶ **アルビレックス新潟 U-18選手** ゴーヤの播種に挑戦！
- ▶ 大阪・関西万博 日本産農林水産物・食品の魅力を世界に発信！
- ▶ 「令和7年度 農薬危害防止運動」の実施
- ▶ 「チャチャっとお茶生活キャンペーン」がスタート！
- ▶ 青果物の出荷規格を見直してみませんか？
- ▶ 棚田の魅力が1枚に！棚田カード第5弾 発行

電子版はこちら





5月15日、5年目を迎えたNGT48農業プロジェクトは、新発田市内のわかば幼稚園の園児50人を迎え「ときむすめ」の田植えを行いました。

NGT48からは、西潟茉莉奈さん、清司麗菜さん、杉本萌さん、北澤百音さんの4名が園児たちの応援を受け田植え機の操作に悪戦苦闘！



西潟 茉莉奈さん

田植えは2回目です。田植え機の操作は、難しいです。ものすごく曲がっちゃって。センスのなさを感じます。今年のおコメも（暑さなど）心配なところもあるけどスクスク育ってほしいと思います。

自分たちで作業することで愛情が芽生えてくるし、農業の大変さも知ってきたので、これからも農業のことを発信していきたいし、「ときむすめ」を多くの人に食べていただけるような発信もしたいです。



できそうで出来ないうねり具合逆にセンスあるかも？



園児たちもお手伝い

田植えは初めてです。

（子供達には）おコメは多くの愛で大切に育てられているから美味しく食べられていることを大人になっても忘れないで欲しいです。

<得意なスケボーに例えると>

同じスケボーの技でも人により滑りに個性が出ます。田植えも同じで、うねったり真っすぐだったりするけど最後は美味しいおコメが出来上がります。作り方や愛情ひとつで変わるものだと思います。



清司 麗菜さん



杉本 萌さん

田植えの出来は比較的真っすぐできたのでほめてもらいました。

今年の「ときむすめ」も楽しみだなと思います。

<安曇野市出身ですが新潟のおコメと違いは感じますか>

安曇野市もこちらもどっちのおコメも美味しく大好きです。去年も「ときむすめ」をたくさんの人に美味しいと味わっていただいたので、今年もさらに多くの人に美味しいと思って食べていただきたいです。



苗の積みめに汗💦



今年もみんなで力を合わせ美味しい「ときむすめ」をつくるぞ



種まきと苗出しをさせていただきました。アイドルになって農業するとは思ってなかったので、新鮮な気持ちで自然に囲まれて楽しかったです。

<秋、「ときむすめ」をどうやって食べたいですか>

お茶碗に盛って普通に食べて、その後におにぎりにして梅干しを入れて食べたいです。

< Simple is best ということですね>



北澤 百音さん

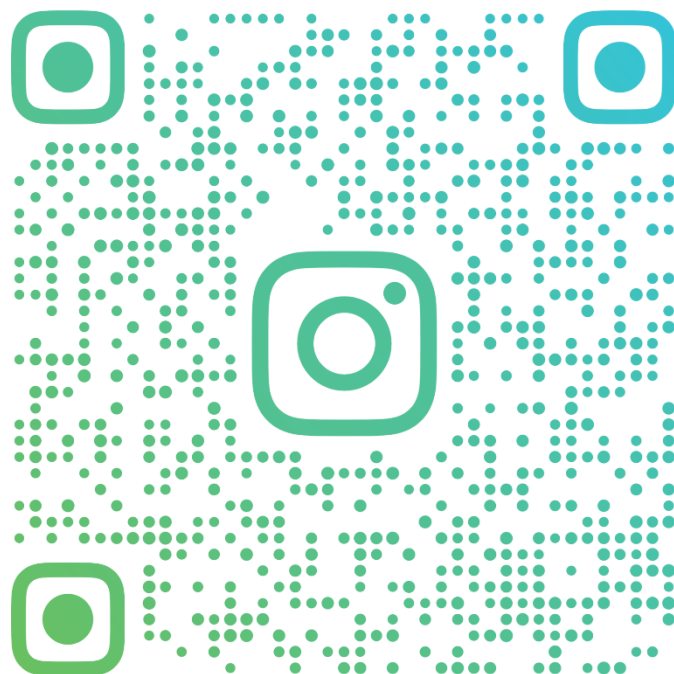
越後新鮮組 本間社長より

寒く日照不足の春だった。この先も油断できない。

暑さもそうだが秋の長雨も怖い。対策として施肥管理など早め早めにやれることをやっていく。コメの価格問題はメディアに振り回されないで納得して買ってもらえるものができればいいと思う。コメ離れするという人もいるが日本食にはやはりコメだと思う。



FOLLOW ME!



HOKURIKU_MIDORI

北陸農政局の Instagram公式アカウントが できました！

北陸農政局では、みなさんにみどり戦略をもっと知ってもらえるよう、
Instagramで情報発信を始めました。
有機農業やイベント情報などなど、北陸農業の楽しい情報を
続々お届けしていきます！



アルビレックス新潟 U-18選手 が ゴーヤの播種 に挑戦しました！



アルビレックス新潟では、農業体験を児童・生徒ならびにアルビレックス新潟の選手の人材育成に活かし、地域への理解を深め、愛着心を育むことを目的に、農業体験教育「**AGRIREX (アグリレックス)**」を2024年から実施しています。

その一環として、4月18日（金）にアルビレックス新潟U-18の選手6名が新潟県立新発田農業高等学校（※）の生徒と一緒に「ゴーヤの播種」を行いました。

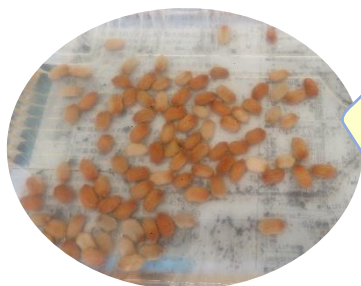
新発田農業高等学校の生徒から指導を受け、最初に土づくりを行いました。

さらさらの土に種を植えても水をはじいてしまうため、まずは土にたっぷり水を含ませ、スコップでよくかきまぜます。

※同校では、新発田市が地球温暖化防止と夏の省エネ啓発を目的に実施している「グリーンカーテンプロジェクト」に協力しており、活動に使うゴーヤの苗を栽培しています。



水を含んだ土は、やわらかくて気持ちがいい！



ゴーヤの種は硬くて発芽しにくいので、あらかじめ水に浸けて吸水を促し、やわらかくします。



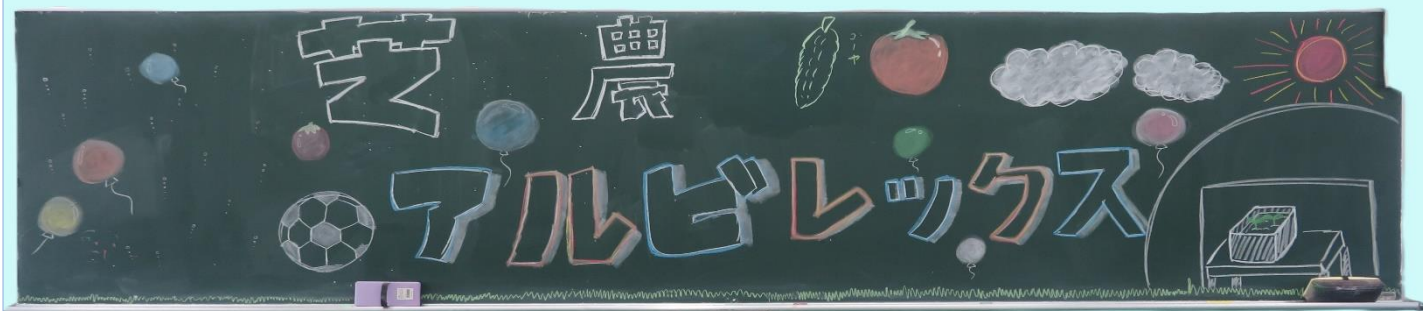
▲セルトレイに土を入れる選手たち



セルトレイ（育苗パネル）に土を入れ、種を一粒ずつ植えていきます。

ゴーヤの種は発芽するときに光を嫌うため、種を軽く押し込み、種が隠れるように土をかぶせます。

種の向きにも注意して植えました。



最後に、セルトレイを育苗ハウスに運び、水をたっぷりあげました。水分が蒸発しないよう、湿らした新聞紙で包んで保湿します。ゴーヤは早くて1週間程度で発芽します。



▲発芽しやすい温度に保たれたハウス内



生育したゴーヤの苗は、新発田市内の保育園・認定こども園や小・中学校などで、グリーンカーテンとして育てられます。



(農業高校生徒の感想)
緊張したけど、途中から自然に教えられるようになり、農業の良さも伝えることができました！

(選手の感想)
種から育てたゴーヤは自分の想いが入ります。土を入れる作業が難しかったけど、楽しみながらできました！

北海道からプロのサッカー選手を目指してアグリレックス新潟アカデミーに入学したという選手は、「谷口海斗選手のようにプレーだけでなく地域に貢献できる選手を目指して頑張っていきたい！」と意気込みを聞かせてくれました。

また、新発田農業高等学校の生徒からは、「将来、新潟県農業大学校へ進学し就農する夢があり、新潟市内から頑張っている。」というお話も聞くことができました。

新潟県拠点では、今後もアグリレックス新潟の農業体験教育「**AGRIREX (アグリレックス)**」の取組を応援していきます！



大阪・関西万博を契機に、 日本産農林水産物・食品の魅力を世界に発信します！

農林水産省が参加する「食のサステナビリティの追求と最高峰の食の提案」実行委員会は、6月15日（日曜日）と16日（月曜日）の2日間、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場内で官民合同の食イベントを開催します。

海外から招いたトップシェフ3名・京都を代表する和食料理人とともに、日本産農林水産物・食品の魅力、多様性とサステナビリティを広く世界に発信します。

食イベント概要：シンポジウム

開催期間：令和7年6月15日（日曜日）10時30分から12時00分まで

開催場所：万博会場内 EXPOメッセ「WASSE」農林水産省出展エリア内ステージ

対象：6月15日に会場に御来場の皆様 ※当日会場に来場された方は自由に御観覧いただけます。

概要：国内外のトップシェフが、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を食の観点から語り合うトークセッション。

海の環境や生物多様性の保全に貢献するサステナブルフードである海藻や、GI産品（地理的表示保護制度による登録産品）である京都府産食材を始めとした日本産農林水産物・食品の魅力、輸出拡大の取組についてトップシェフの立場から語り合っています。

農林水産省HP
プレスリリース

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/kikaku/250507.html



「令和7年度 農薬危害防止運動」の実施について

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。

農薬危害防止運動の目的

農林水産省は、農薬取締法、毒物及び劇物取締法等に基づいた、農薬の適正な取扱いについて関係者を指導しています。

令和7年度は、運動のテーマを「**使用前、周囲よく見て ラベル見て**」と設定し、農薬ラベルの表示事項の遵守と周辺環境への農薬の飛散防止を徹底することなどを重点的に指導します。

実施期間

原則として、令和7年6月1日（日曜日）から8月31日（日曜日）までの3か月間。

実施事項

主な実施事項は以下のとおりです。

- (1) 農薬及びその取扱いに関する正しい知識の普及啓発
- (2) 農薬による事故を防止するための指導
- (3) 農薬の適正使用等についての指導
- (4) 農薬の適正販売についての指導
- (5) 有用生物や水質への影響低減のための関係者の連携

農林水産省HP
プレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/250425.html>



お茶をはじめてみよう

「チャチャっとお茶生活キャンペーン」がスタート！

～おいしく手軽にお茶を楽しむ方法を発信します～

農林水産省は、新茶シーズンの本格化にあわせて、

「お茶をはじめてみよう～チャチャっとお茶生活キャンペーン～」を開始します。

茶産地や茶関連事業者から、日本茶をおいしく手軽に楽しめる情報を寄せていただき、多くの消費者に日本茶を楽しんでもらう情報を発信することで、一層の消費拡大に取り組みます。

取組：本キャンペーンでは、以下の内容に取り組んでまいります。

- (1) **おいしく手軽に日本茶を飲める工夫や取組**を実施または提案する産地や事業者の方々から情報をお寄せいただきます。
- (2) 農林水産省は、お寄せいただいたメッセージ等を、産地または事業者名、事業者のウェブサイトへのリンクと合わせて情報発信します。
- (3) キャンペーン特設ウェブサイトの開設、掲載は随時予定しています。

キャンペーンのお問い合わせ

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ

メールアドレス：nihoncha_kurashi@maff.go.jp

電話：03-6744-2194（直通）

農林水産省HP
プレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/tokusan/250425.html>



青果物の出荷規格を見直してみませんか？

出荷規格を満たさない野菜を活用した事例の収集を行っています！

農林水産省では、出荷規格を満たさない野菜などの一層の有効活用に向け、その販売のために愛称（「もったいない野菜」など）を付けて販売・活用している事例を募集し、ウェブサイトにおいて発信します。

また、出荷規格を満たさない野菜自体には愛称を付けていないものの、加工に仕向ける際に、出荷規格を満たさないものであることが分かるかたちで活用を図っている事例也大歓迎です。

活用事例の収取

- ・事例登録用紙

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.maff.go.jp%2Fj%2Fseisan%2Fryutu%2Fengei%2Fattach%2Fdoc%2Fkikaku-1.docx&wdOrigin=BROWSELINK>

- ・提出先：農林水産省 農産局 園芸作物課 園芸流通加工第1班

メールアドレス：engeika_ryutu1@maff.go.jp

↓詳細は、以下のURL又は右の二次元バーコードからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/engei/kikaku.html>



棚田の魅力が1枚に！棚田カード第5弾 発行 ～棚田めぐりしませんか？～

農林水産省では、棚田を訪れるきっかけになることを願い、棚田カードを作成しており、令和7年4月より、新たに7地区の棚田を追加した第5弾棚田カードが配布されます。

棚田カードとは

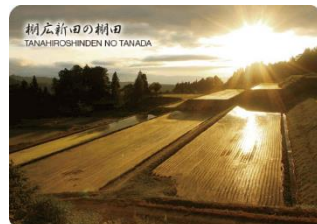
カードの表面に、四季折々の美しい棚田の写真を採用することによって棚田の魅力を伝えるとともに、裏面には、棚田の枚数（面積）や傾斜、作付け品種などの情報、棚田の歴史などを掲載しています。

また、棚田カードと併せて、棚田まで足を運んでもらいやすいよう、棚田周辺の情報や棚田までのアクセス、訪問マナーなどを掲載した「棚田めぐりガイド」と、棚田カードの地区一覧などを掲載した「棚田めぐりマップ」を作成しています。

棚田カード第5弾までの累計地区数は、36府県259地区となりました（新潟県内は43地区）。

農林水産省HP
プレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nihon/250423.html>



カードの配布方法・場所や棚田めぐりマップ・めぐりガイドの詳細は、以下のURLから御確認ください。
https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/card_list.html

日本の原風景と言われている棚田。美味しいお米や地域の食材、棚田の作り出す風景や歴史、季節や時間で違う顔を見せる棚田をめぐりませんか。

編集後記

新潟県は棚田が多く農林水産大臣が認定した「つなぐ棚田遺産」の認定数も全国1位となっています。日本のピラミッドといわれるほどの伝統・文化、美しい景観、教育、国土保全といった多面的機能を有する棚田をあなたも見に行ってみませんか？



お問い合わせ



北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者（地域の担い手や若手農業者、女性農業者など）の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

